

授業科目名	スペイン語会話(2000035)		
時間割名	スペイン語会話(34202)		
時間割担当	オチャンテロサ		
実施期	前期	単位数	1 選択
曜日・時限	水・4		

授業の目標・概要

スペイン語は英語の次に国際的に有力な言語となっている。また国内でも90年代から日系ペルー、ボリビア、パラグアイ、アルゼンチン等、多くの国から来日するようになり、保育、学校、医療の現場ではニーズが増している言葉である。ここでは、スペイン語での簡単な日常会話ができる能力を習得する。スペイン語の基礎文法を理解し、平易なスペイン語を聞きとったり、正確な発音で、相手に尋ねたり、質問に答えたりできること。挨拶や買い物、カフェでの注文など、日常な場面で簡単なスペイン語が使えるようになるため、受講生同士で状況を設定して、実践的な練習を行うことによって会話能力の向上を目指す。

学習の到達目標

スペイン語独自の音を発音し、聞き取れ、読めるようにする。
 スペイン語の挨拶や簡単な会話ができることを目指す。
 スペインやラテンアメリカの文化、生活の理解を深め、英語との異なる世界を知る。

授業方法・形式

毎回プリントを配布し、それに基づいた授業を行う。また2,3人のグループで新しく学習した表現を使って会話の練習をする。

授業計画

- 第 1回 オリエンテーション、授業の概要と展開
 - 第 2回 スペインのスペイン語とラテンアメリカのスペイン語の違い、イントネーションの特徴、挨拶表現
 - 第 3回 国名、出身、職業などの表現、簡単な自己紹介する
 - 第 4回 ser, estar と hay 動詞の活用相違について理解する
 - 第 5回 ar, er, ir 動詞の直説法現在形規則活用、レストランでの注文の仕方、よく使われる表現と会話の練習
 - 第 6回 未来形を使って計画を立てる「Ir a + 不定冠詞を使う」
 - 第 7回 Hacer する・時間と天候について
 - 第 8回 Tener que + 原形の使い方
 - 第 9回 これまでの授業の復習と小テストの実施
 - 第10回 スペイン、ラテンアメリカの文化、社会、歴史、文化遺産について調べる
 - 第11回 直説法現在gustar形の動詞、趣味について
 - 第12回 学校や授業で使う表現、医療の現場で使用する表現
 - 第13回 痛み、病気、体調が悪い時の表現を覚えよう
 - 第14回 スペイン語でのスピーチ
 - 第15回 授業の総括、復習する。
- 定期試験

成績評価の基準

授業への取り組み、発表を平等に評価(30%)、小テスト(20%)、さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(50%)

準備学習・復習及び授業時間外の課題

配布したプリントをよく読んで復習し、シラバスでテーマや授業内容を調べて予習すること。

履修上のアドバイス及び留意点

英語能力は問わないが、言語を学ぶために継続的に取り組む必要がある。復習はもちろんだが、毎週少しずつ積み上げていくため毎回出席するように努力する。

教材・教科書

教科書は使用しないが、必要なプリントを配布する。また参考書も紹介する。

参考書

授業中に指示する。